

施策評価シート

施策コード	5201	平成25年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	ビジネスとつとりの展開	所属名	経済観光部	観光コンベンション推進課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○鳥取自動車道の開通に伴い、本市を全国にアピールする絶好の機会が訪れています。多くの観光客が本市を訪れたくなるよう、魅力、感動、癒しやおもてなしの心に満ちた観光地づくりが必要です。</p> <p>○本市の観光地が、国内外の他の観光地に負けないよう、魅力ある観光地に磨き上げることが必要です。</p> <p>○「砂の美術館」は、精巧で緻密な「砂像」を制作・展示する美術館であり、美術館のブランドと安定的な管理運営を確立することが重要です。</p> <p>○「世界ジオパーク」に認定された山陰海岸ジオパークは、自然や環境の保護・保全を行うとともに、観光など地域産業に活用していく持続的な取組みが求められています。</p> <p>○高速交通網の整備進展により、観光客の周遊性や滞在性を高める取組みが必要です。そのためには、観光客を受け入れる体制づくりが求められています。</p> <p>○観光産業は裾野が広く、地域経済への波及効果が高い産業として注目されています。観光産業を本市の基幹産業として振興するためには、官民が一体となった取組みが必要です。</p> <p>○国内旅行の需要は頭打ちの傾向であり、外国人観光客の誘客促進が求められています。</p>
めざす方向	国内外の観光地に負けない知名度の高い観光地づくりを進めていくとともに、多様化する旅行者ニーズに対応できる観光ルート・観光商品の開発や広域観光連携を進め、国内外から観光客が集う「観光都市鳥取」をめざします。
達成するための対策・手段	①山陰海岸ジオパークの特性を活かした取組みの推進 ②「砂像のまち鳥取市」に向けた取組み ③鳥取砂丘の景観保全 ④地域の観光資源の磨き上げや掘り起こし ⑤滞在型観光の促進 ⑥おもてなしの向上 ⑦効果的な誘客宣伝活動の推進 ⑧鳥取城跡観光の推進 ⑨観光関連産業の育成・支援 ⑩コンベンション誘致に向けた取組みの強化 ⑪広域観光連携の推進 ⑫海外からの観光入込客増加に向けた取組みの推進

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	観光入込客数	万人	目標	280	310	320	330	340
				実績	267.7	317.3	300	0	0
				目標達成率	96%	102%	94%		
	(指標の説明)		県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の観光入込客数。(基準値は平成21年度 25年度は未発表のため推計値)						
	2	コンベンション誘致数	件	目標	90	100	110	115	120
				実績	75	68	64	0	0
目標達成率				83%	68%	58%			
(指標の説明)		市及び(財)とっとりコンベンションビューローが支援し、誘致したコンベンション(会議・大会など)の件数。(基準値は平成21年度)							
3	ボランティア除草参加人数	人	目標	4000	4500	5000	5000	5000	
			実績	5893	5654	4578	0	0	
			目標達成率	147%	126%	92%			
(指標の説明)		鳥取砂丘ボランティア除草の参加人数。(基準値は平成21年度)							

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	638,881	790,663	871,510	0	0

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	「砂の美術館第6期展示」や「全国都市緑化とっとりフェア」、「鳥取しゃんしゃん祭り」などを開催し、県内外からの観光客誘客に努めるとともに、平成25年度末の鳥取自動車道全線開通を踏まえた、関西圏、山陽圏、但馬圏との広域観光連携の強化やコンベンション誘致の強化、首都圏、中京圏、九州圏などへのプロモーション活動の推進、鳥取-ウラジオストク間のチャーター便就航など、各種施策に積極的に取り組んだ。
---------------------------------------	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	観光産業は裾野が広く、地域経済への波及効果が高い産業であり、基幹産業として振興することは、本市にとって重要です。今後、ますますの魅力ある観光地づくりに取り組むため、鳥取砂丘や砂の美術館、山陰海岸ジオパークエリアなどの観光資源の磨き上げに努めるとともに、鳥取砂丘西側整備の検討、鳥取県中部や但馬圏との広域観光の推進、着地型観光に向けた商品の造成、鳥取城跡周辺の活用、鳥取西地域の観光振興などに取り組んでいきます。

7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	【重要度：17位、満足度：6位、ニーズ度：22位】 ●満足度が高いため、ニーズも低い結果となった。これは、現在の取り組みに対する一定の評価と思われる。このため、特に改善の必要性はなく、現状の取り組みを継続していく必要がある。
----------------	---

事務事業評価シート

事務事業コード	002384	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	山陰海岸ジオパーク事業費		所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	山陰海岸ジオパーク事業費		予算事業コード	01-06-01-03-30-01	
		ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外観光客、国際観光客、鳥取市民
意図 (どのような状態にするために)	鳥取砂丘、白兔海岸などのジオサイトに訪れていただき、貴重な地質遺産とそれらがもたらす多彩な自然を背景にした文化や歴史に見て触れて楽しみながら、教育、観光振興、産業振興などに活かし地域の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトを推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進 ・本市ジオパークエリアの見直し拡大	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進 ・既存エリアの世界ジオパーク再認定審査 ・拡大エリアの世界ジオパーク認定審査	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進 ・第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)山陰海岸シンポジウムの開催	
	年度別実績	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進	・保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各プロジェクトの推進 ・拡大エリアが日本ジオパークに認定			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,598	30,197	31,012	0	26,164	
	直接経費 A	14,101	22,771	23,727	0	26,164	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,318	945	1,614	0	2,949
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	336	6,929	22,113	0	7,359
	一般財源	11,447	14,897	0	0	15,856	
人件費 B	7,497	7,426	7,285	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	出前講座及び現地体験学習	人	目標	0	0	5000	5000	5000
				実績	0	0	6538	0	0
	(指標の説明) 大人から子どもまでの鳥取市民を対象とした出前講座及び現地体験学習の実施支援								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3046</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P150(経081)、6月補正・P15(経006) 12月補正・P32(経014)</p> <p>【事業の概要】 1 山陰海岸ジオパーク推進のため保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集・発信に関する各種取り組みを行った。 2 エリア拡大へ向けた機運向上のため、拠点施設へのパネル展示を行った。</p> <p>【事業の成果】 これまでの山陰海岸ジオパークの取り組みが評価され、平成25年12月、エリア拡大地域が日本ジオパークに認定された。併せて4年毎に行われる既存エリアの再認定も果たした。(エリア拡大地域：旧気高郡の全域、旧鳥取市及び旧河原町の一部)</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度は、4年毎の世界ジオパークによる既存エリアの再認定審査と、エリア拡大地域の認定審査が行われるため、各種取り組みの更なる強化が必要。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出前講座及び現地体験学習			131%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	各地域にある貴重な資源に、ジオパークの切り口である地形・地質との関連付けを行い、さらに世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの知名度により、教育の推進、観光振興、産業振興などの活発化と地域振興に貢献できた。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学校教育や公民館事業による現地体験学習の実施、ジオパークを切り口とし地域資源を活用した「地域おこし」に取り組む地域等、市民活動が活発化してきており、ジオパークによる地域振興の機運が徐々に高まりつつある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	3府県3市3町で構成する山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、チラシ・看板類の作成、ロゴマーク商品造成、ジオツーリズムの開発、普及啓発イベント等の各種事業を行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	山陰海岸ジオパークのエリアは本市域全体ではなく、一部にエリア外(エリア外地域:佐治町、用瀬町、河原町の一部)がある。山陰海岸ジオパークのエリア外であっても、ジオパークの捉え方による地域資源の魅力アップを図るための取り組みが必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	世界ジオパーク再認定とエリア拡大の認定を平成26年に控え、地元機運は高まってきているが、まだまだジオパークを活用した経済効果を高めるための投資環境や、周辺地域での認知度が満足ではないと判断している。今後さらに取組みを強化し平成26年の世界ジオパーク認定を達成し、平成27年には、山陰海岸ジオパークで開催される国際会議に成功し、さらなる飛躍を目指したい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002308	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	砂像制作事業		所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	砂像製作事業費		予算事業コード	01-06-01-03-01-11	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外観光客、国際観光客、鳥取市民
意図 (どのような状態にするために)	世界で唯一の砂像を専門に展示する「砂の美術館」を開催し、本市における観光客の誘致に努めることで、本市への観光入込客の増加と地域経済の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	展示テーマに沿った砂像制作・展示及びイベントの実施など集客に向けた各種取り組みを継続する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・砂の美術館第5期展示イベント開催 ・砂像制作、展示	平成24年度 ・砂の美術館第5期展示開催 ・砂像制作、展示	平成25年度 ・砂の美術館第6期展示開催 ・砂像制作、展示	平成26年度 ・砂の美術館第7期展示開催 ・砂像制作、展示	平成27年度 ・砂の美術館第8期展示開催 ・砂像制作、展示	
	年度別実績	・第5期展示PR用砂像の制作・展示及びイベントの開催 ・第5期展示用砂像の制作(16作品)	・砂の美術館第5期展示のPRイベント開催及び各種環境整備 ・第6期展示砂像の制作(19作品)	・砂の美術館第6期展示のPRイベント開催及び各種環境整備 ・第7期展示砂像の制作(21作品)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	108,869	113,190	137,392	0	129,981	
	直接経費 A	103,621	107,992	127,921	0	129,981	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	8,261	107,992	115,121	0	129,981
	一般財源	95,360	0	12,800	0	0	
人件費 B	5,248	5,198	9,471	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	1.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	砂の美術館来場者	単位	千人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
					実績	0	500	550	550	550		
	(指標の説明) 砂の美術館来場者数											
	2				目標	0	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)											
3				目標	0	0	0	0	0	0		
				実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)												

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>当初予算・P138(経057)、6月補正・P14(経004) 12月補正・P31(経014)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>平成18年度に「砂の美術館第1期展示」を開催。平成23年度に世界初となる全天候型の砂像展示施設の整備を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">＜砂の美術館開催実績＞</td> <td>作品テーマ</td> <td>来場者数</td> <td>開催日数</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>第1期展示</td> <td>イタリア・ルネサンス</td> <td>110,962人</td> <td>47日</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>第2期展示</td> <td>世界遺産・アジア編</td> <td>322,197人</td> <td>253日</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>第3期展示</td> <td>砂で世界旅行・オーストリア編</td> <td>170,679人</td> <td>108日</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>第4期展示</td> <td>砂で世界旅行・アフリカ</td> <td>414,323人</td> <td>257日</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>第5期展示</td> <td>砂で世界旅行・イギリス</td> <td>526,768人</td> <td>268日</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>第6期展示</td> <td>砂で世界旅行・東南アジア編</td> <td>555,355人</td> <td>261日</td> </tr> </table> <p>また第7期展示開催に向けた砂像の制作を実施する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第6期展示集客イベント開催(公開制作、カボヅア舞踊、3Dプロジェクションマッピング等) ☆昨年クリスマスイベント「音楽と光のファンタジー」のイベント入場者数との比較 H24:5,233人(12/12~24 13日間)⇒H25:21,691人(12/14~25 12日間) ☆昨年同期(12/14~25)の砂の美術館総入館者数との比較 H24:15,341人⇒H25:34,783人 ☆昨年同期(12/14~25)の砂の美術館総入館者数との比較 H24:15,341人⇒H25:34,783人 第7期展示開催に向けた準備(砂像制作・展示準備) <p>【今後の課題・方向性】砂像の展示や集客イベント、満足度向上に向けた各種環境整備等の実施を通じて県外客の滞在型観光の促進による地域経済の活性化や市民の更なる来場促進を図る。</p>	＜砂の美術館開催実績＞		作品テーマ	来場者数	開催日数	平成18年度	第1期展示	イタリア・ルネサンス	110,962人	47日	平成20年度	第2期展示	世界遺産・アジア編	322,197人	253日	平成21年度	第3期展示	砂で世界旅行・オーストリア編	170,679人	108日	平成22年度	第4期展示	砂で世界旅行・アフリカ	414,323人	257日	平成24年度	第5期展示	砂で世界旅行・イギリス	526,768人	268日	平成25年度	第6期展示	砂で世界旅行・東南アジア編	555,355人	261日
	＜砂の美術館開催実績＞		作品テーマ	来場者数	開催日数																															
平成18年度	第1期展示	イタリア・ルネサンス	110,962人	47日																																
平成20年度	第2期展示	世界遺産・アジア編	322,197人	253日																																
平成21年度	第3期展示	砂で世界旅行・オーストリア編	170,679人	108日																																
平成22年度	第4期展示	砂で世界旅行・アフリカ	414,323人	257日																																
平成24年度	第5期展示	砂で世界旅行・イギリス	526,768人	268日																																
平成25年度	第6期展示	砂で世界旅行・東南アジア編	555,355人	261日																																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 砂の美術館来場者		105%	101%		
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	第6期展示目標来場者数である55万人を達成し、多くの来場者に「砂像のまち鳥取市」を発信することができ、地域経済の活性化に寄与することができたといえる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本市を代表する観光地である鳥取砂丘に位置し、滞在型観光を推進する拠点施設としての評価も高く、他に類を見ないオンリーワンの美術館として位置づけられている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	日本で唯一の砂像彫刻家である茶圓勝彦氏を総合プロデューサーに委嘱し砂像の制作・展示を行っており、世界トップレベルの砂像彫刻家の招聘や制作ディレクティングなど高いレベルでの展示が行われており、効率的な手法といえる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	先進地の事例や砂の美術館来場者アンケート等をもとに観覧料を定めており、一定のサービスを提供していると評価できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される「砂像」の魅力をも最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。 また、利用料金制への移行など外部委託等も検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002297	重点事業区分	リープロ4	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民運動推進支援事業		所属名	企画推進部 協働推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	昭和61年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	鳥取市市民運動推進協議会補助金			予算事業コード	01-02-01-11-14-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市市民運動推進協議会
意図 (どのような状態にするために)	わかとり国体を契機に盛り上がった市民運動の精神を絶やすことのないよう、市民総ぐるみの運動を推進
手段 (どうするのか)	市民総ぐるみで運動を推進し、健康で明るく住みよいまちづくりを進めている本協議会に対し支援

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	鳥取砂丘一斉清掃参加者数 7,600人	鳥取砂丘一斉清掃参加者数 7,500人	鳥取砂丘一斉清掃参加者数 7,200人	鳥取砂丘一斉清掃参加者数	鳥取砂丘一斉清掃参加者数	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,859	10,181	9,119	0	6,516	
	直接経費 A	8,361	5,725	4,748	0	6,516	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	1,300	1,380	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	8,361	4,425	3,368	0	6,516	
人件費 B	4,498	4,456	4,371	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取砂丘一斉清掃参加者数	人	目標	7200	7400	7600	7600	7600
	(指標の説明)		実績	7600	7500	7200	0	0	
2		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>鳥取市市民運動推進協議会補助金 【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【9次総の施策体系】 2101</p> <p>【事業の概要】 昭和60年のわかとり国体を契機に盛り上がった市民運動の精神を絶やすことのないようにということで、昭和61年に発足したこの鳥取市市民運動推進協議会は、◎親切で心のふれあう運動◎まちをきれいに美しくする運動◎健康なからだをつくる運動を柱に事業を実施され、市民総ぐるみで運動を推進している。</p> <p>【事業の成果】 市民総ぐるみで運動を推進し、健康で明るく住みよいまちづくりを進めている本協議会に対し支援することで、市民運動の推進を図った。</p> <p>(平成25年度・主な事業実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ふれあい広場で、餅つきコーナー実施 ・花いっぱい運動で、プランター等配付 ・各種清掃活動の実施 ・あいさつワッペンの配布 計 13,374個 ・ポイ捨て禁止看板の配付 計 203枚 ・ごみステーション看板の配付 計 286枚 <p>【今後の課題・方向性】 外部評価の判定も踏まえ、より市民ニーズに沿うように、廃止する事業や新規事業、また啓発のあり方など様々な角度での検討を行い、より市民活動が広がり、事業の充実につながるよう協議していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取砂丘一斉清掃参加者数	106%	101%	95%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	山陰海岸ジオパークの代表的なジオスポットである鳥取砂丘に、多くの市民が集まり清掃することで一体感が深まり、市民総ぐるみの市民活動の推進が図られる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	多くの市民に参加していただくことで、市民相互のふれあいが生まれ、市民運動の推進に寄与している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市民運動の推進、市民意識の向上に加え、美化意識の高揚が図られるとともに、観光客によりきれいな砂丘を見ていただく活動となっている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	参加対象者に制約はなく、市報、ホームページ等で広く参加を呼びかけている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	外部評価の判定なども踏まえ、より市民ニーズに沿うよう、廃止する事業や新規事業、また啓発のあり方など様々な角度での検討を行い、より市民活動が広がり、事業の充実につながるよう協議していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002344	重点事業区分	リープロ4	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取砂丘新発見伝事業(公募イベント)		所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	鳥取砂丘新発見伝事業負担金			予算事業コード	01-06-01-03-06-15

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外観光客、国際観光客、鳥取市民
意図 (どのような状態にするために)	鳥取砂丘で民間主導のイベントを県・市・民間事業者が一体となり実施することで、地域経済の活性化並びに砂丘の観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取砂丘の新しい魅力を県内外に情報発信し、観光や文化面で地域の活性化につながるイベントの主催者に対し、補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・鳥取砂丘イリュージョンほか	平成24年度 ・鳥取砂丘イリュージョンほか	平成25年度 ・鳥取砂丘イリュージョンほか	平成26年度 公募イベント	平成27年度 公募イベント	
	年度別実績	・鳥取砂丘イリュージョンほか、計9事業	・鳥取砂丘イリュージョンほか、計10事業	・鳥取砂丘イリュージョンほか、計11事業			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	18,360	15,812	11,467	0	10,000	
	直接経費 A	14,611	12,099	10,738	0	10,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	14,611	12,099	10,738	0	10,000
人件費 B	3,749	3,713	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	イベント参加人数	千人	目標	100	110	100	100	100
				実績	90	78	114	0	0
	(指標の説明) 砂丘を活用したイベント参加人数								
	2	公募イベント実施数	件	目標	10	10	10	10	0
				実績	9	10	11	0	0
	(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036
	【9次総の施策体系】	5201
	【予算計上の経過】	当初予算 P.145 (経072)
	【事業の概要】	鳥取砂丘再生会議利活用部会が実施する「鳥取砂丘新発見伝事業」が鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を公募・審査し、イベント開催を支援することにより、県・市及び民間が一体となって砂丘観光の活性化を図るもの。
	【事業の成果】	平成25年度において、「鳥取砂丘イリュージョン」のほか「睡蓮の花とミズクラゲの多鯰ヶ池を楽しむカヌー」「サンドボード選手権大会」など合計11イベントが開催された。平成25年度の参加人数が、11万4千人(昨年度比3万6千人増)となった主な要因は、鳥取砂丘イリュージョンの開催日数が前年に比べ約2週間延長したことと考える。
	【今後の課題・方向性】	鳥取砂丘の景観や自然を活かした魅力的なイベントへ支援できるよう、幅広く鳥取砂丘新発見伝という制度そのものの情報発信を行う必要がある。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	イベント参加人数	90%	71%	114%		
	2	公募イベント実施数	90%	90%	110%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	鳥取砂丘をさらに活性化させるため、民間が主体となって行うイベントを支援するものであり、目的として妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	応募されたイベントの中でどのイベントに支援をするべきかは、実行委員会を通じてをその都度審査していく必要がある。特に継続的に実施されているものについては、慎重に審査する必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県や市の行政がイベントを実施するのではなく、民間事業者に対して支援を行うものであり、効率的であると考えます。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	本事業では、イベント実施に係る経費の一部を実施者負担とするとともに、広くイベント公募をしており、適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取砂丘の景観や自然を活かした魅力的なイベントへ支援できるよう、幅広く鳥取砂丘新発見伝という制度そのものの情報発信を行う必要がある。また、平成25年度まで本事業から鳥取砂丘イリュージョンへの支援を行ってきたが、冬の砂丘の主要な観光資源として継続開催が望まれることから、平成26年度からは単独の補助金として支援することとしている。	

事務事業評価シート

事務事業コード	003020	重点事業区分	リープロ4	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取砂丘新発見伝事業(鳥取砂丘イリュージョン)		所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
	施策	5201	ビジットととりの展開			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外観光客、国際観光客、鳥取市民
意図 (どのような状態にするために)	鳥取砂丘で民間主導のイベントを県・市・民間事業者が一体となり実施することで、地域経済の活性化並びに砂丘の観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取砂丘の新しい魅力を県内外に情報発信し、観光や文化面で地域の活性化につながるイベントの主催者に対し、補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績				・鳥取砂丘イリュージョン	・鳥取砂丘イリュージョン	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	5,000	
	直接経費 A	0	0	0	0	5,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	5,000
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		イベント参加人数	千人	目標	0	0	0	80	80	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 砂丘を活用したイベント参加人数									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036
	【9次総の施策体系】	5201
	【予算計上の経過】	平成25年度予算計上なし・平成26年度より実施
	【事業の概要】	<p>平成25年度までは、鳥取砂丘イリュージョンへの開催支援は、鳥取砂丘の新たな魅力を創出するためのイベント開催を公募・審査のうえ支援する、鳥取砂丘再生会議利活用部会が実施する「鳥取砂丘新発見伝事業」を通じて行ってきた。</p> <p>鳥取砂丘イリュージョンは、冬の主要な観光資源であり継続開催されることが望ましく、毎年審査のうえ補助の有無が決定される「鳥取砂丘新発見伝事業」の枠組みの中で支援することは適切ではないとの考えから、単独の補助金として開催支援を行うこととした。</p> <p>このため、本項目は平成25年度においては事業実績等が存在せず、「鳥取砂丘新発見伝事業（公募イベント）」に記載している。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	イベント参加人数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本事業は平成26年度新事業のため、平成25年度事業評価は行なわない。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本事業は平成26年度新事業のため、平成25年度事業評価は行なわない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	本事業は平成26年度新事業のため、平成25年度事業評価は行なわない。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	本事業は平成26年度新事業のため、平成25年度事業評価は行なわない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取砂丘イリュージョンは、従来は「鳥取砂丘新発見伝事業」でイベント公募する中での支援を行ってきた。しかし、冬の砂丘の主要な観光資源として継続開催が望まれることから、平成26年度から単独の補助金として支援することとしている。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002373	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取砂丘魅力向上推進事業		所属名	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	自然公園法、日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	砂丘管理事業費			予算事業コード	01-06-01-03-08-01
			ボランティア除草参加人数			
			5,893人			
			5,000人			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県内外観光客、国際観光客、鳥取市民
意図 (どのような状態にするために)	受け入れ環境の整備及び適切な管理。
手段 (どうするのか)	砂丘及び周辺の景観保全、維持管理、ゴミ処理。ゴールデンウィーク時における砂丘周辺の渋滞対策。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・鳥取砂丘周辺の渋滞対策 ・海岸漂着ゴミの収集処分 ・市営砂丘駐車場の維持修繕	平成24年度 ・砂丘周辺の景観保全、清掃、ゴミ処理 ・市営砂丘駐車場等、砂丘周辺施設の負担金、借上、維持修繕 ・鳥取砂丘周辺の渋滞対策	平成25年度 砂丘及び周辺の景観保全、維持管理、ゴミ処理。GW時における砂丘周辺の渋滞対策。	平成26年度 砂丘及び周辺の景観保全、維持管理、ゴミ処理。GW時における砂丘周辺の渋滞対策。	平成27年度 砂丘及び周辺の景観保全、維持管理、ゴミ処理。GW時における砂丘周辺の渋滞対策。	
	年度別実績		・砂丘周辺の景観保全、清掃、ゴミ処理 ・市営砂丘駐車場等、砂丘周辺施設の負担金、借上、維持修繕 ・鳥取砂丘周辺の渋滞対策	・砂丘周辺の景観保全、清掃、ゴミ処理 ・市営砂丘駐車場等、砂丘周辺施設の負担金、借上、維持修繕 ・鳥取砂丘周辺の渋滞対策			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,309	33,768	23,398	0	23,253	
	直接経費 A	2,309	28,570	21,212	0	23,253	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,547	234	815	0	345
		地方債	0	4,700	0	0	0
		その他	102	23,636	20,397	0	22,908
	一般財源	660	0	0	0	0	
人件費 B	0	5,198	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.70	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		ボランティア除草参加人数	人	目標	0	0	6000	6000	6000
	実績	0	0	4715	0	0			
2		(指標の説明)	砂丘の草原化を食い止めるためのボランティア除草の参加人数						
		目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0			
3		(指標の説明)							
		目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【事業の概要】 鳥取砂丘周辺を訪れる観光客の受入れ環境を整備し、また砂丘周辺の環境を適切に管理することを目的に、以下の事業を実施した。 1. 砂丘周辺の景観保全、清掃、ゴミ処理等 2. 市営砂丘駐車場等、砂丘周辺施設の負担金、借上、維持修繕 3. 鳥取砂丘周辺の渋滞対策</p> <p>【事業の成果】 1. 鳥取砂丘再生会議保全部会を通じての砂丘の除草や枯木伐採、砂丘海岸漂着ゴミの回収など、砂丘の全体的な景観保全を行った。 2. ゴールデンウィークにおいて砂丘周辺道路渋滞対策のため交通整理員の配置、誘導看板の設置などを行い、臨時駐車場等への車を誘導することにより、渋滞緩和を図った。 (4/27-5/6入込：約26万人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 交通網の整備等でますますの観光客増が期待される中、特に入込が集中するゴールデンウィークの交通渋滞対策は、平成26年4月にオープンした砂の美術館駐車場(約200台)を臨時駐車場として追加運用したが、砂丘来訪者の増加(集中)により一時渋滞が発生した。今後も臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ボランティア除草参加人数			79%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<p>■ 1. 妥当である</p> <p>□ 2. ほぼ妥当である</p> <p>□ 3. あまり妥当ではない</p> <p>□ 4. 妥当ではない</p>	鳥取砂丘の大半は鳥取市有地であり、その景観保全や観光客の受入環境整備には鳥取市が関与するべきである。
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p>■ 1. 有効である</p> <p>□ 2. やや有効である</p> <p>□ 3. あまり有効でない</p> <p>□ 4. 有効でない</p>	砂丘の景観保全については、関係団体・学識経験者がメンバーである鳥取砂丘再生会議を通じて行うのが最も有効であり、継続的に実施する必要がある。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<p>■ 1. 効率的である</p> <p>□ 2. やや効率的である</p> <p>□ 3. あまり効率的ではない</p> <p>□ 4. 効率的ではない</p>	砂丘の全体的な景観保全については、鳥取砂丘再生会議を通じて行うのが最も効率的であり、その他受入環境の整備についても砂丘の関係事業者と協働して実施しているところである。
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<p>■ 1. 公平である</p> <p>□ 2. やや公平である</p> <p>□ 3. あまり公平ではない</p> <p>□ 4. 公平ではない</p>	鳥取砂丘という財産を将来に残し、かつ鳥取砂丘を訪れる観光客の受入環境を整備することにより、地域に経済効果をもたらすためのものであり、適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p>□ 1. 拡充</p> <p>□ 2. 改善継続</p> <p>■ 3. 現状維持</p> <p>□ 4. 縮小</p> <p>□ 5. 休止、廃止、終了</p>	<p>□ 1-1 意図的に拡充</p> <p>□ 1-2 制度的に自然増加</p> <p>□ 2-1 手段等の改善</p> <p>□ 2-2 効率化、簡素化</p> <p>□ 2-3 他事業との統合</p>	<p>□ 4-1 意図的に縮小</p> <p>□ 4-2 制度的に自然減少</p> <p>□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p>□ 5-2 意図的に廃止</p> <p>□ 5-3 制度的に終了</p>
	担当課長の評価コメント	<p>今後も、良好な砂丘の景観を保全し、鳥取砂丘の受入環境を整備することにより、快適な観光ができる状態にするために事業を継続していく必要がある。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002340	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	しゃんしゃん祭支援事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	鳥取しゃんしゃん祭振興会補助金 交付要綱、しゃんしゃんウィーク開催補助金
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	しゃんしゃん祭振興会補助金		予算事業コード	01-06-01-03-06-11	
ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取しゃんしゃん祭振興会
意図 (どのような状態にするために)	市民総参加の本市を代表するしゃんしゃん祭の開催を通じ、市民の連帯を深めるとともに、本市の観光・文化・産業の振興発展に努める。
手段 (どうするのか)	鳥取しゃんしゃん祭振興会に対して、祭りの開催に伴う必要な経費の補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 H23年8月6日～15日	平成24年度 H24年8月上旬～中旬	平成25年度 H25年8月上旬～中旬	平成26年度 H26年8月上旬～中旬	平成27年度 H27年8月上旬～中旬	
	年度別実績	H23年8月6日～15日	H24年8月11日～15日	H25年8月10日～15日			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	26,757	23,514	29,082	32,333	25,447	
	直接経費 A	23,758	20,544	26,168	32,333	25,447	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	23,758	20,544	26,168	32,333	25,447		
人件費 B	2,999	2,970	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取しゃんしゃん祭観客数	千人	目標	400	450	500	500	500
	(指標の説明) 鳥取しゃんしゃん祭に訪れた観光客の数	実績	398	372	386	0	0		
2	参加連	連	目標	100	100	100	100	100	
	(指標の説明) 祭りに参加する連	実績	101	95	100	0	0		
3			目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239 (経069)</p> <p>【事業の概要】 鳥取しゃんしゃん祭振興会に補助金を交付し、祭り開催を支援する。 第49回大会は、駅前太平線バードハットを新たな会場に位置づけ、一斉傘踊りのケースとして活用を図るなど、祭りの魅力を高める新たな取り組みを展開する。</p> <p>【事業の成果】 8月10日から15日までの6日間をしゃんしゃんウィークとして開催。8月14日の一斉傘踊りには100連4000人の踊り子が出場し、期間中の合計で385,900人が来場した。 平成23年度 8月6日～15日開催、来場者数398,300人 平成24年度 8月11日～15日開催、来場者数372,400人</p> <p>【今後の課題・方向性】 祭りの魅力と全国的な知名度をさらに高めるとともに、祭り開催に合わせた県外観光客受け入れ体制を強化する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取しゃんしゃん祭観客数	100%	83%	77%		
	2	参加連	101%	101%	100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の賑わい創出・観光振興の観点から、しゃんしゃん祭振興会が企画・運営する祭りを補助することは妥当と考える。今後は、協賛金等の拡充を図り、これまで以上に民間主体の取り組みを強化していく。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	一斉踊りの客数は、H24が185千人、H25が193千人と増加しているが、ウィーク1日平均の客数は、H24が64千人、H25が74千人と減少している。今後は、一斉踊り以外の魅力あるイベントを企画し、県外への売込みに力を入れていく。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	祭りの企画・運営は、しゃんしゃん祭振興会を通じて市民主体の推進体制が確立しており、行政は補完的な役割を果たしているため効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	広く市民全般が参加するイベントであり、本市の賑わい創出・観光振興に大きく寄与していることから、公平性は確保されていると考える。今後も公平性を担保するため、参加団体負担金や協賛金の拡充を図っていく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>しゃんしゃん祭は、鳥取県東部最大の祭りとして定着しており、にぎわい創出と観光振興のため、今後も官民一体で祭りの充実を図っていく。25年度の観客数は、指標の目標数値には達しなかったが、前年度と比べると増加している。今後も魅力ある祭を企画し、多くの観客に来ていただくよう努力する。 第50回大会の開催にあたり「世界最大の傘踊りのギネス世界記録挑戦」などを企画し、県外旅行者への積極的な売込みを行う。今後も鳥取を代表する日本の祭り「鳥取しゃんしゃん祭」を目指し支援を行っていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002383	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	観光産業育成支援事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	鳥取市観光産業育成支援事業補助金交付要綱
	施策	5201	ビジットととりの展開			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	観光産業育成支援事業費			予算事業コード	01-06-01-03-29-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内で活動している観光事業者等
意図 (どのような状態にするために)	観光事業者等が本市観光産業の健全な発展基礎を確保するために行う事業を支援し、もって本市の観光産業育成及び観光振興を図ることを目的として交付する。
手段 (どうするのか)	観光事業者等が観光施設改修にかかる事業や観光客誘客・広報宣伝に係る事業を実施した場合、補助対象経費に対して、補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・観光事業者等が観光施設改修や観光客誘客 ・広報宣伝に係る事業を実施した場合に補助	平成24年度 ・観光事業者等が観光施設改修や観光客誘客 ・広報宣伝に係る事業を実施した場合に補助	平成25年度 ・観光事業者等が観光施設改修や観光客誘客 ・広報宣伝に係る事業を実施した場合に補助	平成26年度 ・観光事業者等が観光施設改修や観光客誘客 ・広報宣伝に係る事業を実施した場合に補助	平成27年度 ・観光事業者等が観光施設改修や観光客誘客 ・広報宣伝に係る事業を実施した場合に補助	
	年度別実績	補助件数:33件	補助件数:24件	補助件数:11件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,765	16,462	4,440	0	7,000	
	直接経費 A	18,266	14,977	2,983	0	7,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	280	1,413	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	17,986	13,564	2,983	0	7,000
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	千人	目標	2800	3100	3200	3200	3200	
			実績	2677	3173	3000	0	0		
	(指標の説明) 観光地における入込客									
	2	補助件数	件	目標	0	0	10	10	10	
				実績	0	0	11	0	0	
(指標の説明) 補助により支援を行なった件数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算上の経過】 当初予算・P239(経080)</p> <p>【事業の概要】 基幹産業としての観光産業を確立するために、観光事業者が行う観光施設整備・改修事業や観光客の誘客・広報宣伝への取り組みに対し支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 観光事業者が行う観光施設整備・改修事業や観光客の誘客・広報宣伝への取り組みに対して11件の補助を行った。 平成23年度 33件 平成24年度 24件</p> <p>【今後の課題・方向性】 補助制度を有効に活用していくため、必要に応じて補助要件や補助対象の見直しを実施していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	102%	94%		
	2	補助件数			110%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	観光産業への取り組みの一助として本制度は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本補助金の活用により、観光事業者等の新たな取り組みの促進が促されている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	本補助金と、事業者の自己負担を加え、周辺事業者への波及効果もある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	幅広い観光関係事業者を対象としており、公布目的を達成できるよう、審査・交付決定をしている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	広域宣伝や環境整備への投資が、ただちに効果を発揮して観光客の増加につながることは難しいが、観光客のニーズや旅行実態に合わせて迅速に対応することは必要である。 市が一部支援することによって事業が積極的に進められることもあり、実施状況を確認しながら補助対象などを検討していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002300	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	観光イベント等開催支援事業(桜まつり)		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	外部委託
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	桜まつり事業委託費			予算事業コード	01-06-01-03-01-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び観光客
意図 (どのような状態にするために)	久松公園並びに袋川右岸を桜の名所としてPRするとともに、憩いの場を提供する。
手段 (どうするのか)	桜の開花の時期に合わせ、ボンボリの設置・点灯を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	ボンボリの設置・点灯 H23. 4. 5~15	ボンボリの設置・点灯 H24. 4. 5~15	ボンボリの設置・点灯 H25. 4. 1~7 H26. 3. 11~31			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,351	6,344	10,087	0	5,601	
	直接経費 A	5,601	5,601	9,358	0	5,601	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,601	5,601	9,358	0	5,601		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	花見客数	単位	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	23000	23000	23000	23000	23000				
	実績	23000	23000	23000	0	0					
	(指標の説明) 花見に訪れる人数										
	2	目標	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)											
3	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P 2 3 9 (経 0 5 6)</p> <p>【事業の概要】 桜の名所である鳥取城跡周辺や袋川周辺にボンボリ等の設置・点灯を行うことにより、市民に憩いの場を提供するとともに観光客の誘客を行う。</p> <p>【事業の成果】 桜の開花時期に合わせ、ボンボリを鳥取城跡周辺や袋川周辺に設置・点灯を行うことにより、平成25年度は約23,000人の来場者数があった。 現段階では、観光客の多くが鳥取近郊に在住している者と考えられるが、今後は、鳥取城跡観光を推進する中で、周辺の魅力を高め、更なる誘客促進を図っていききたい。</p> <p>【今後の課題・方向性】 通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、桜のシーズンに多くの市民・観光客を呼び込む事業として継続実施していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	花見客数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	桜のシーズンに多くの市民、観光客を中心市街地に呼び込む施策として妥当と考える。現段階では、観光客の多くが鳥取近郊に在住している者と考えられるが、今後は、鳥取城跡観光を推進する中で、周辺の魅力を高め、更なる誘客促進を図っていききたい。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	桜のスポットとして定着している鳥取城跡・袋川土手のライトアップは多くの市民や観光客の目に触れるため非常に有効であり、継続して行う必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	一部ライトアップ等のエリア等の見直しを行ったが、今後も引き続き手法、エリアについて見直す必要がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	中心市街地の桜の名所をライトアップすることにより、四季のイベントの一つである花見に賑わいを添え、広く市民、観光客に喜ばれているため、公平性に優れている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>例年4月からボンボリ設置を行っていたが、25年度は3月末に桜の開花が見込まれたため、その準備に経費が多く掛かったもの。26年度からは例年通りの予算となる。 四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、桜のシーズンに多くの市民・観光客を呼び込む事業として継続実施していく。今後も引き続き手法、エリアについて見直す必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002346	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	観光イベント等開催支援事業(お城まつり・桜まつり)		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	ふるさと鳥取桜まつり事業補助金交付要綱、鳥取32万石お城まつり事業補助金交付要綱
	施策	5201	ビジットとつとりの展開			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	お城まつり・桜まつり補助金		予算事業コード	01-06-01-03-06-17	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ふるさと鳥取桜まつり実行委員会 鳥取32万石お城まつり実行委員会
意図 (どのような状態にするために)	本市を代表するふるさと鳥取桜まつり及び鳥取32万石お城祭実行委員会を支援し、観光客の誘致を図るとともに、中心市街地の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	各まつりの実行委員会を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ふるさと鳥取桜まつり、鳥取32万石お城まつり	平成24年度 ふるさと鳥取桜まつり、鳥取32万石お城まつり	平成25年度 ふるさと鳥取桜まつり、鳥取32万石お城まつり	平成26年度 ふるさと鳥取桜まつり、鳥取32万石お城まつり	平成27年度 ふるさと鳥取桜まつり、鳥取32万石お城まつり	
	年度別実績	ふるさと鳥取桜まつり(4.2、3)、鳥取32万石お城まつり(10.8、9)	ふるさと鳥取桜まつり(4.7、8)、鳥取32万石お城まつり(10.13、14)	ふるさと鳥取桜まつり(4.6、7)、鳥取32万石お城まつり(9.29)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,580	1,485	1,457	0	3,706	
	直接経費 A	3,830	0	0	0	3,706	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,830	0	0	0	3,706
人件費 B	750	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	観客数	単位	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	50000	50000	50000	50000	50000			
	実績	47700	50000	10500	0	0				
(指標の説明) ふるさと鳥取桜まつりと鳥取32万石お城まつりの観客数の合計										
2	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239 (経073)</p> <p>【事業の概要】 ①鳥取32万石お城まつり 本市の集客イベントとして、全国に観光鳥取を情報発信するとともに、鳥取城復元に向けた市民意識を醸成する。 ②ふるさと鳥取桜まつり 本市の観光資源である袋川で、花見シーズンに合わせて芸能披露等の各種イベントを実施し、観光客誘致を図るとともに中心市街地の活性化に寄与する。</p> <p>【事業の成果】 ①鳥取32万石お城まつり 平成25年9月29日 観客数10,000人 ②ふるさと鳥取桜まつり 平成25年4月6日、7日 観客数 500人 ③決算額 平成24年度 3,830千円 平成25年度 3,700千円 ※平成24年度より観光イベント等開催支援事業(イベント)と結合したため、コストが0となっているもの。</p> <p>【今後の課題・方向性】 県外からの誘客を狙った魅力的なイベントの企画・開催や、事業の効果的な実施方法の検討が必要となる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	観客数	95%	100%	21%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の自然、歴史をテーマにしたイベントであり、当該事業に対しての支援は必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	それぞれ代替するイベントはなく、賑わいづくりには欠かせない。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	今年度は、天候不順、開催日数の減により入込数が減少した。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての市民等に等しく祭を提供できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	お城まつりについては、当初の目的である鳥取城跡の再建にある程度めどが立ったことから、第15回という節目を迎える26年度に、あり方を検討する必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002347	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	観光イベント等開催支援事業(イベント)		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	白兔まつり、市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート、吉岡温泉ホテルまつり事業補助金交付要綱
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	観光イベント開催補助金		予算事業コード	01-06-01-03-06-18	
		ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	白兔まつり、市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート、吉岡温泉ホテルまつり各実行委員会
意図 (どのような状態にするために)	本市で、6月から8月にかけて行われる夏の時期に、効果的なイベントを開催し、観光客の誘致を図る。
手段 (どうするのか)	各実行委員会を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	白兔まつり、市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート、吉岡温泉ホテルまつり	白兔まつり、市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート、吉岡温泉ホテルまつり	白兔まつり、市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート、吉岡温泉ホテルまつり	市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート	市民納涼花火大会、風紋広場青い鳥コンサート	
	年度別実績	白兔まつり(8.1)、市民納涼花火大会(8.15)、風紋広場青い鳥コンサート(7.9~30)、吉岡温泉ホテルまつり(6.12)	白兔まつり(8.1)、市民納涼花火大会(8.15)、風紋広場青い鳥コンサート(7.7~28)、吉岡温泉ホテルまつり(6.17)	白兔まつり(8/1)市民納涼花火大会(8.15)、風紋広場青い鳥コンサート(7/27.8/3)、吉岡温泉ホテルまつり(6/16)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,169	7,992	6,948	0	3,419	
	直接経費 A	3,419	7,249	6,219	0	3,419	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,419	7,249	6,219	0	3,419		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	観客数	人	目標	170000	170000	170000	170000	170000
				実績	172785	180000	135300	0	0
	(指標の説明) 各まつりの観客数の合計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P 2 3 9 (総 0 7 3)</p> <p>【事業の概要】 地域や団体などが中心となって、魅力あふれる地域の伝統文化や歴史に因んだイベントを開催している。その各種観光イベントを支援することにより、全国に観光鳥取を情報発信し、観光客の誘致を図る。</p> <p>【事業の成果】 (1) 観客動員数 ①白兔まつり 500人 ②市民納涼花火大会 129,800人 ③青い鳥コンサート 500人 ④吉岡温泉ホテルまつり 4,500人 (2) 決算額 平成24年度 3,419千円 平成25年度 3,399千円 ※平成24年度より観光イベント等開催支援事業(お城まつり、桜まつり)と結合したため、コストが増となっているもの。</p> <p>【今後の課題・方向性】 通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、実行委員会が主体となった事業に対しての補助を継続実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	観客数	102%	106%	80%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の代表的な観光イベントを支援するものであり、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	開催地域を活性化し、本市への誘客を促進する事業であり、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	開催地域を活性化し、本市への誘客を促進する事業であり、妥当である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民、観光客すべてに参加可能なイベントであり、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、実行委員会が主体となった事業に対しての補助を継続実施していく。イベント内容の企画や実施を観光・旅行商品に繋げていくような施策の展開が必要である。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002345	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	いなば温泉郷協議会活動支援事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成13年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	いなば温泉郷協議会補助金交付要綱
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	いなば温泉郷協議会活動支援事業費補助金		予算事業コード	01-06-01-03-06-16	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	いなば温泉郷協議会
意図 (どのような状態にするために)	県東部地域の温泉地（鳥取温泉、吉岡温泉、浜村温泉、鹿野温泉、岩井温泉）の活性化を図り、もって県東部地域の観光振興を図る。
手段 (どうするのか)	いなば温泉郷協議会の活動を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 広報宣伝情報発信事業、観光客滞留滞在促進事業、意識啓発技術向上事業	平成24年度 広報宣伝情報発信事業、観光客滞留滞在促進事業、意識啓発技術向上事業	平成25年度 広報宣伝情報発信事業、観光客滞留滞在促進事業、意識啓発技術向上事業	平成26年度 広報宣伝情報発信事業、観光客滞留滞在促進事業、意識啓発技術向上事業	平成27年度 広報宣伝情報発信事業、観光客滞留滞在促進事業、意識啓発技術向上事業	
	年度別実績	ホームページ、マスコミ等を活用したPR、魅力ある温泉地づくり事業、PRイベント実施事業	ホームページ、マスコミ等を活用したPR、魅力ある温泉地づくり事業、PRイベント実施事業	ホームページ、マスコミ等を活用したPR、魅力ある温泉地づくり事業、PRイベント実施事業			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,799	1,792	1,777	0	1,008	
	直接経費 A	1,049	1,049	1,048	0	1,008	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,049	1,049	1,048	0	1,008		
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	いなば温泉郷の入湯客数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
					実績	158000	159000	160000	160000	160000	
		(指標の説明) いなば温泉郷各温泉地の入湯客									
	2				目標	0	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0	0
		(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【事業の概要】 鳥取、吉岡、鹿野及び浜村の各温泉の旅館組合等が共同で観光客を誘致するため組織する「いなば温泉郷協議会」の活動に要する経費を補助し、県東部地区温泉の活性化を図り観光振興を図る。</p> <p>【事業の成果】 鳥取自動車道全線開通による関西エリアからの誘客を見込み、インターネットを使った広報や、県外へのキャラバンなど情報発信に努めている。 「鳥取ぐるりチケット」では、入湯客を鳥取市をはじめとした観光施設へ回遊させる取組みを行い、成果をあげている。 (1) インターネット活用事業 (2) PR資材整備事業 利用実績4,241人 (3) 広告掲載事業 利用実績1,319人 (4) 入湯客回遊促進事業 利用実績1,975人</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成25年3月に鳥取自動車道が全線開通し、関西エリアからの客足が伸びていることを受け、インターネットを活用する広報活動に力を注ぎ、誘客宣伝を重点的に行い、来訪者の増に努める。 また、小規模な宿泊施設が多く団体旅行客の受入容量が少ないことから、入湯客数は横ばいであるが「鳥取ぐるりチケット」など個人旅行客に対応した施策を講じるとともに、県外客誘客のためのPRキャラバン、イベント等への積極的な参加を行い情報発信に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	いなば温泉郷の入湯客数	84%	87%	81%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	鳥取県東部の広域的な温泉地への誘客により、鳥取市の観光を促進する。
<p>事業の有効性</p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	インターネットによる情報発信により、認知度は高まっている。
<p>資源投入の効率性</p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	温泉地への宿泊だけでなく、クーポンによる周辺の観光地周遊も促進している。
<p>サービスの公平性</p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	県、対象市町、受益者である温泉旅館との等分の負担のもと、事業を行っている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取県東部にある温泉で組織するいなば温泉郷協議会に対する支援は、本市の観光資源と連携した体験型観光やツーリズム観光と温泉地を結びつける事業として有効であり、本市が進めている滞在型観光として継続していく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002366	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	吉岡温泉整備支援事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成15年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	吉岡温泉まちなみ整備事業補助金交付要綱
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	吉岡温泉整備事業補助金		予算事業コード	01-06-01-03-07-12	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	吉岡温泉旅館組合又は吉岡温泉町の推薦を受けた者
意図 (どのような状態にするために)	吉岡温泉の温泉街としての魅力向上を図り、観光客の更なる誘致を図る。
手段 (どうするのか)	吉岡温泉旅館組合並びに吉岡温泉町が行うまちなみ景観整備に関わる事業について支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 まちなみ整備事業、街路灯改修事業	平成24年度 まちなみ整備事業	平成25年度 まちなみ整備事業	平成26年度 まちなみ整備事業	平成27年度 まちなみ整備事業	
	年度別実績	まちなみ整備事業、街路灯改修事業	まちなみ整備事業	まちなみ整備事業			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,499	1,985	729	0	1,000	
	直接経費 A	5,000	500	0	0	1,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,000	500	0	0	1,000
人件費 B	1,499	1,485	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		吉岡温泉入湯客数	人	目標	43000	43000	43000	43000	43000	
			実績	39867	40100	29719	0	0		
		(指標の説明) 吉岡温泉への入湯客数								
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239 (経061)</p> <p>【事業概要】 ・吉岡温泉まちなみ整備事業 温泉旅館組合または町内会が温泉地としての魅力向上のため、実施する修景整備事業に対して1件あたり500千円を限度として事業費の2分の1を補助する。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 3件 (5,000千円) (うち街路灯整備事業 4,000千円 1件、まちなみ整備事業 1,000千円 2件) 平成24年度 1件 (500千円) 平成25年度 1件 (500千円)</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取いなば温泉郷の中でも、特に歴史と風情の残る温泉地であり、今後も必要な整備を図り、本市の目指す滞在型観光に繋げていく必要がある。 平成29年度に鳥取西道路の吉岡温泉ICが開通予定となる中、本市では吉岡温泉町、吉岡温泉旅館組合とともに組織する「吉岡温泉活性化連絡会」において吉岡温泉町の活性化の具体的内容について、協議・検討を重ねてきた。 これらを受けて、今後は、温泉の公共的利用を増進させる施設の整備及び環境の改善などを中心に周辺旅館施設なども含めて観光振興につなげる基本構想を策定したいと考えている。 併せて、温泉街並の景観整備などへ独自の助成制度を有する県とも情報共有を進め、一日も早い構想の実現により、多様化する温泉事業者ニーズに対応できる魅力ある温泉地としていきたいと考えている。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	吉岡温泉入湯客数	93%	93%	69%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	長引く景気の低迷の中、観光産業、観光地に対する支援は必要と考える
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本補助金により、事業者等の投資意欲も高まり、成果は向上している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	本補助金を投入することで、事業者の積極的な取組を生み出している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	補助対象者は限定されるが、まちなみ整備という効果については全市民、観光客に還元される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	鳥取いなば温泉郷の中でも、特に歴史と風情の残る温泉地であり、今後も必要な整備を図り、温泉地としての本市の目指す滞在型観光に繋げていきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002309	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	観光ボランティア活性化事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	鳥取市観光大学事業補助金交付要綱
	施策	5201	ビジットととりの展開			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	その他
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	観光ボランティア活性化事業費		予算事業コード	01-06-01-03-01-12	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	民間人を主体としたおもてなしに携わる事業者 観光ボランティアガイドクラブ (観光ガイド友の会ほか)
意図 (どのような状態にするために)	本市を訪れる観光客に対するおもてなしの向上を図るため、民間が主催する観光大学への支援を行い、民間事業者に勤める従業員のホスピタリティの向上を図る。
手段 (どうするのか)	観光大学の実施を支援する。 観光ボランティアガイドを養成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 観光大学事業、観光ボランティアガイド事業	平成24年度 観光大学事業、観光ボランティアガイド事業	平成25年度 観光大学事業、観光ボランティアガイド事業	平成26年度 観光大学事業、観光ボランティアガイド事業	平成27年度 観光大学事業、観光ボランティアガイド事業	
	年度別実績	・観光大学の開催 ・観光ボランティアガイド事業 ガイド件数:7500人 マイスター認定数:39人	・観光大学の開催 ・観光ボランティアガイド事業 ガイド件数:人 マイスター認定数:34人	・観光大学の開催 ・観光ボランティアガイド事業 ガイド件数:人 マイスター認定数:34人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,421	3,407	3,369	0	1,912	
	直接経費 A	1,922	1,922	1,912	0	1,912	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,922	1,922	1,912	0	1,912
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			目標	千人		2800	3100	3200	3200	3200	
	実績			2677	3173	3000	0	0			
	(指標の説明) 観光地における入込客数										
	2	観光ガイド利用者数	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			目標	千人		7	7	7	7	7	
実績			8	8	8	0	0				
(指標の説明) 観光ガイド利用者数											
3		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
		目標			0	0	0	0	0		
実績			0	0	0	0	0				
(指標の説明)											

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239(経058)</p> <p>【事業の概要】 本市のホスピタリティの強化とともに、おもてなしの心による観光振興を図る。 ①観光ガイドを養成して、観光客に本市の魅力をPRする。 ②観光学堂を開催して、本市のホスピタリティの向上を目指す。</p> <p>【事業の成果】 (1)観光ボランティアガイド件数 2,911人 (2)観光マイスター認定数 25人 ※観光ボランティアガイドの丁寧な説明に感激した観光客が、再度鳥取市を訪れた際、同様のボランティア観光ガイドを指名した例もある。</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市には、歴史・文化に根ざした地域の食・物産品等多くの魅力ある地域資源があり、これらを観光客に分かりやすく、親しみをもって紹介することは、魅力ある観光地づくりに必要不可欠である。 そのため、観光客をもてなす人材育成を行うための「観光学堂」は、今後も開催し、観光客の受け入れ体制の充実を図る。 また、観光客を鳥取駅から中心市街地へ誘導し、ガイド団体の活動拠点となるガイド詰め所「きなんせえ屋」も継続して設置し、更なる観光振興を図るとともに、観光客がまた来たいと思うような心の醸成を地域全体で育てていきたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	102%	94%		
	2	観光ガイド利用者数	114%	114%	114%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	観光ボランティア、観光マイスター養成は、本市のホスピタリティ向上に大いに資する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	観光マイスターは着実に増加しているが、観光ガイド数については横ばいであり、養成講座等の開催についても強化する必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	観光コンベンション協会の委託事業として適切な事業と考えるが、ガイド組織の細分化に伴い、受託者の運営体制も見直す必要がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	本市を訪れる観光客に対し、公平かつクオリティの高いサービスを提供することができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>観光地や観光施設でボランティアとして活躍する観光ガイドや、観光事業者やタクシー乗務員が取得している観光マイスターは、観光客に本市の魅力を紹介するために重要な役割を担っており、今後も事業を継続する必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002343	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	ループバス運行支援事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成13年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	観光ループバス運行事業補助金交付要綱
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	ループバス運行支援助成費		予算事業コード	01-06-01-03-06-14	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市観光コンベンション協会
意図 (どのような状態にするために)	本市の観光地を巡る二次交通を整備し、観光客の利便性と多くの観光客の誘致を図る。
手段 (どうするのか)	「ループ麒麟獅子バス」を運行する鳥取市観光コンベンション協会を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	ループバスの運行支援	ループバスの運行支援	ループバスの運行支援	ループバスの運行支援	ループバスの運行支援	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,382	5,766	6,972	0	0	
	直接経費 A	7,007	5,395	6,608	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,007	5,395	6,608	0	0	
人件費 B	375	371	364	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	乗車人数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			人	目標	18000	18000	18000	18000	18000
			実績	15541	22013	21207	0	0	
		(指標の説明) ループバスに乗車した人数							
2		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239(経071)</p> <p>【事業の概要】 「ループ麒麟獅子」は、鳥取市内観光地を巡る周遊バスとして、JR鳥取駅を基点とする本市観光の二次交通を担い、観光活性化に重要な役割を果たしている。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>補助額</td> <td>利用者数</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>7,007千円</td> <td>16,515人</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>5,395千円</td> <td>22,013人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>6,608千円</td> <td>21,207人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市内の観光地を巡る周遊バスであるループ麒麟獅子バスは、JR鳥取駅の利用者を中心に、年間2万人に利用されており、本市の重要な二次交通手段と認識している。 一方で、近年の利用者数に大きな増は見られず、これは、より自由度の高い交通手段を利用し、行きたい場所に行くという観光スタイルの変化も大きな要因とも考えられる。 現在、ループ麒麟獅子は、利用実態に合わせた運行ルートの見直しやイベント開催時におけるバスの活用など様々な努力をしているが、今後は利用者数の動向を見据えながら、より有効な二次交通手段について協議する必要がある。</p>		補助額	利用者数	平成23年度	7,007千円	16,515人	平成24年度	5,395千円	22,013人	平成25年度	6,608千円	21,207人
		補助額	利用者数										
平成23年度	7,007千円	16,515人											
平成24年度	5,395千円	22,013人											
平成25年度	6,608千円	21,207人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	乗車人数	86%	122%	118%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	二次交通の支援を行うものであり妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	二次交通の確保は、観光客を誘客するにあたり不可欠である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	運賃収入だけでは不足する運行経費を支援している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	観光振興および観光客の利便性を図るうえで支援を行うものである。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	<small>現在、ループ麒麟獅子は、利用実態に合わせた運行ルートの見直しやイベント開催時におけるバスの活用など様々な努力をしているが、今後は利用者数の動向を見据えながら、より有効な二次交通手段について協議する必要がある。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002315	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	誘客推進事業(宣伝推進)		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	宣伝推進事業費			予算事業コード	01-06-01-03-02-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県外のメディア、エージェント及び観光客等
意図 (どのような状態にするために)	本市を積極的にPRし、観光客の増加及び知名度アップを図る
手段 (どうするのか)	県外旅行会社及びマスコミ・メディアへの観光プロモーションを行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 マスコミ・イベントキ ャラパンの実施 エージェントと折衝	平成24年度 マスコミ・イベントキ ャラパンの実施 エージェントと折衝	平成25年度 マスコミ・イベントキ ャラパンの実施 エージェントと折衝	平成26年度 マスコミ・イベントキ ャラパンの実施 エージェントと折衝	平成27年度 マスコミ・イベントキ ャラパンの実施 エージェントと折衝	
	年度別実績	首都圏・関西圏をはじめ 旅行会社、マスコミ ・メディアへの営業に よる商品造成を行った。	首都圏・関西圏をはじめ 旅行会社、マスコミ ・メディアへの営業に よる商品造成を行った。	首都圏・関西圏をはじめ 旅行会社、マスコミ ・メディアへの営業に よる商品造成を行った。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,891	30,081	31,949	0	26,472	
	直接経費 A	2,893	24,140	26,121	0	26,472	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	24,140	26,121	0	10,000
一般財源	2,893	0	0	0	16,472		
人件費 B	5,998	5,941	5,828	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	千人	目標	2800	3100	3200	3200	3200	
				実績	2677	3173	3000	0	0	
	(指標の説明) 観光地における入込客									
	2	砂の美術館入場者数	千人	目標	0	0	550	550	550	
				実績	0	0	555	0	0	
	(指標の説明) 砂の美術館に入ってくる観光客の数									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239 (経064)</p> <p>【事業の概要】 県外旅行会社に対し、本市の魅力ある観光素材や観光ルート、イベント等を積極的に紹介し、旅行企画の提案を行い、本市を訪れる観光客の誘客を図る。また、マスコミ・メディアへの旬な観光情報を提供し、全国へ情報発信を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 ・旅行会社等訪問数(首都圏20社、中京圏40社 九州20社 中四国30社) ・旅行会社商談会(名古屋会場) ・各種広告(TV、新聞、情報雑誌等) ・観光パンフレット等製作(旅時間、グルメガイド、砂の美術館PRパンフ等) 商品化実績 〈首都圏〉 鳥取砂丘・堺港と出雲大社・松江(2日間) 4~9月 105本 安芸の宮島と出雲大社と足立美術館、鳥取砂丘、尾道8~12月 84本 〈中京圏〉 山陰美術館サミットと砂丘クルーズ(2日間) 5月4本 6月5本 松葉ガニと鳥取砂のWイリュージョン(2日間) 12月 7本 〈関西圏〉 世界ジオパーク認定の地を歩こう!(日帰) 9月 2本 〈中四国・九州圏〉 鳥取決算大感謝祭(日帰) 8、9月 15本 など</p> <p>【今後の課題・方向性】 観光客の増加及び本市の知名度を上げていく上でも必要な事業であり、今後も効果のある宣伝活動を検討・実施していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	102%	94%		
	2	砂の美術館入場者数			101%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	県外において観光PRを行うことにより、多くの観光客に本市を訪れていただく
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	県外旅行会社やマスコミ・メディアへのプロモーションは、旅行商品の企画造成や本市の情報発信に大きな効果が期待でき、観光客の増加を図るうえで有効な手段である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	県観光プロモーターとプロモーション活動を分担することにより、効率化を図っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市を訪れる観光客が増加することにより、観光地をはじめとした地域経済の活性化が期待できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	観光客の増加及び本市の知名度を上げていく上でも必要な事業であり、今後も効果のある宣伝活動を実施していく。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	002295	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取市知名度アップ大作戦事業		所属名	企画推進部 秘書課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	外部委託
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費			予算事業コード	01-02-01-03-02-13
		ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	関西圏、首都圏
意図 (どのような状態にするために)	関西圏や首都圏などにおける本市の知名度や好感度をアップさせるため、各種メディアを使った広報を戦略的に展開し、観光客の招致や企業誘致、U J I ターン者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	観光客の増加、特産品の消費拡大、企業誘致、移住定住者の増加などを図るため、関西圏や首都圏などにおける情報発信や、政策上、必要な臨時的情報の発信を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	OSAKA光のルネサンスなど、イベントへの出展(※次年度は観光コンベンション推進課へ移管) 各種メディアによる情報発信	各種メディアによる情報発信	各種メディアによる情報発信	各種メディアによる情報発信	各種メディアによる情報発信	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	35,114	21,440	21,136	0	18,005	
	直接経費 A	31,365	17,727	17,493	0	18,005	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	31,365	17,727	17,493	0	18,005	
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	「砂の美術館」の認知度調査	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	60	65	70	70	70					
	(指標の説明) イベント出展の際の来場者アンケート											
2	指標名	広告費換算	単位	千円	区分	目標	86000	86000	86000	86000	86000	
	実績	83762	89000	162700	0	0						
3	指標名	(指標の説明) 関西圏、首都圏などにおける各種メディアの報道結果に基づく広告費換算額	単位		区分	目標	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0						

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】 広報室 0857-20-3159</p> <p>【9次総の施策体系】 施策NO.5301</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P42(企024)</p> <p>【事業の概要】 鳥取自動車道の開通に向け、平成20年度から戦略的広報を展開。 平成23年度からは、媒体による情報発信として鳥取市情報発信業務を展開。公募型プロポーザルで業者選定を行い、費用対効果の高い情報発信に努めた。</p> <p>【事業の成果】 砂の美術館第6期展示は、過去最高となる来場者55万人を達成し、第1期展示から通算して200万人を突破した。砂の美術館が行った来場者アンケートでは、砂の美術館を知った理由として、テレビ/インターネットが36%と、効果的な媒体であり、結果として、関西圏からの来場者が50%、首都圏からの来場者が10%と増え、知名度アップ大作戦によるテレビ/インターネットによる広報効果が表れている。 25年度プロポーザルによる情報発信業務では、媒体広告換算で1.6億円の効果を達成し、予算の約1.6倍の広告価値効果を達成。</p> <p>【今後の課題・方向性】 マスコミの本社が集まる首都圏に対して、本市の知名度を高め、観光客の増加、移住定住の推進、企業誘致等を図るため、シティセールスを強化する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	「砂の美術館」の認知度調査	63%	80%	114%		
	2	広告費換算	97%	97%	189%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	観光誘客、企業誘致、移住定住の推進などに効果的である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	個別事業をまとめてPRすることで、相乗効果を得ている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	プロポーザル選考で、費用対効果の高い提案を実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象者を限定することなく、公平に実施している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>26年度はシティセールス担当職員を配置し強化する方針</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002323	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	観光情報等調査発信事業(発信ツール)		所属名	経済観光部	観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	観光情報発信ツール整備事業			予算事業コード	01-06-01-03-02-21
		ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に流入する観光客
意図 (どのような状態にするために)	本市の観光情報や基礎データの収集・把握・分析を行い、今後の観光施策に活かすとともに、観光情報発信ツールなどを作成し、本市の知名度を向上させる。
手段 (どうするのか)	観光白書の作成や本市の観光情報を盛り込んだノベルティグッズを作成し、あらゆる機会を通じ、本市の情報を発信する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・観光白書の発行 ・観光ノベルティグッズの作成等	・観光白書の発行 ・観光ノベルティグッズの作成等	・観光白書の発行	・観光白書の発行 ・観光ノベルティグッズの作成等	・観光白書の発行 ・観光ノベルティグッズの作成等	
	年度別実績	・観光白書の発行 ・観光ノベルティグッズの作成等	・観光白書の発行 ・観光ノベルティグッズの作成等	・観光白書の発行			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,697	2,444	2,542	0	410	
	直接経費 A	448	216	356	0	410	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	448	216	356	0	410
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	鳥取・いなば温泉郷観光入込客数	千人	目標	2800	3100	3200	3200	3200
				実績	2677	3173	3000	0	0
	(指標の説明) 観光地における入込客								
2		ノベルティ制作数	千件	目標	2	2	2	2	2
				実績	2	2	2	0	0
	(指標の説明) ノベルティ制作数								
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 本市の観光情報を数値的に把握するとともに、イベントや観光情報の的確な発信を行うことによって、「鳥取・因幡」を広く全国に発信することを目的とする。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度観光白書発行部数 500部 本市の観光事業者の参考資料として活用していただくとともに、県外視察や各種研修会において、本市の観光の現状や課題を説明する資料としておおいに役立った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 観光白書は、本市の観光の現状や課題などを分析する上で必要な資料であり、今後の観光施策に反映させるため継続して作成する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取・いなば温泉郷観光入込客数	96%	102%	94%		
	2	ノベルティ制作数	100%	100%	100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の観光の現状及び課題を整理することにより、観光施策へ反映させることができた。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	本市の観光の現状及び課題について整理することにより、その結果を観光施策へ反映させることができた。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	観光の現状と課題、今後の方向性をまとめるのに時間がかかり過ぎた。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	観光の現状をデータで示すことにより、本市観光のガイドラインの役割を担った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	観光白書は、本市の観光の現状と課題を今後の観光施策に反映させていく事を目的に作成しており、今後も、より効果的な活用ができるように改定を重ねながら継続して作成していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002342	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	コンベンション誘致支援事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	平成15年度 ~ 全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	鳥取市コンベンション開催補助金交付要綱
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	補助金交付
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	コンベンション誘致支援事業費		予算事業コード	01-06-01-03-06-13	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市でコンベンション等の大会を催す者
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市における各種コンベンションの開催を支援することにより、本市におけるコンベンションの開催を促進し、交流人口の増大による地域活性化を図る。
手段 (どうするのか)	本市で大会、集会、研究会、企業コンベンション等を開催する者に対し、会場費や機材、看板制作費、会場までの交通費、郷土芸能出演にかかる経費を助成することで、本市の宿泊者数の増加を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・コンベンション等を開催した場合の経費補助	平成24年度 ・コンベンション等を開催した場合の経費補助	平成25年度 ・コンベンション等を開催した場合の経費補助	平成26年度 ・コンベンション等を開催した場合の経費補助	平成27年度 ・コンベンション等を開催した場合の経費補助	
	年度別実績	・コンベンション等を開催した場合の経費補助 開催補助件数:75件	・コンベンション等を開催した場合の経費補助 開催補助件数:71件	・コンベンション等を開催した場合の経費補助 開催補助件数:48件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,691	9,962	11,963	0	11,250	
	直接経費 A	7,192	8,477	10,506	0	11,250	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,192	8,477	10,506	0	11,250	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	コンベンション開催件数	単位	件	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		目標	85	100	100	80	80				
	実績	75	71	48	0	0					
(指標の説明) 本市で開催されるコンベンションの開催件数											
2	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											
3	目標	0	0	0	0	0					
	実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)											

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・239(経070)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 財団法人とっとりコンベンションビューローが行うコンベンション開催助成金交付制度の財源として、鳥取市開催分のコンベンションに対し、交付基準額の1/2を乗じて得た額以内で算出し、予算の範囲内で交付する。</p> <p>(2) 上記の助成対象外となる延べ宿泊人数200泊未満の小規模コンベンションについて、本市内開催分について補助金制度を設け、コンベンションの種類に応じて予算の範囲内で補助金を交付する。なお、事業実施については、鳥取市観光コンベンション協会に間接補助をする形態とする。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>コンベンション開催件数</p> <p>平成25年度 (1) 25件 (2) 23件</p> <p>平成24年度 (1) 26件 (2) 42件</p> <p>平成23年度 (1) 22件 (2) 53件</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>平成25年度は、8月末より小規模コンベンションの担当者が欠員となり、十分な誘致活動ができなかった。</p> <p>コンベンション誘致は宿泊も伴い、地域に直接的に経済効果を与える重要なものであるため、とっとりコンベンションビューローの制度と合わせて継続する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	コンベンション開催件数	88%	71%	48%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	コンベンション等を開催した場合の経費補助
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	コンベンション関係者に支援を行うことで、開催件数の増加を図ることができた
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	コンベンション開催者に助成金を交付することで、鳥取市のコンベンション誘致に繋がり、高い費用対効果が期待できる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	助成金対象となるコンベンション主催者に直接支援するため適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	宿泊を伴うコンベンションの誘致は、地域に直接的な経済効果を与えるため、とっとりコンベンションビューローの制度と連携し鳥取市への誘致活動を継続実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002317	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	姫路お城まつり連携事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	姫路お城まつり派遣事業費		予算事業コード	01-06-01-03-02-04	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	姫路お城まつり参加者
意図 (どのような状態にするために)	姫路市の夏の風物詩である姫路お城まつりにしゅんしゅん傘踊りの踊り子連が参加し、本市の観光宣伝を行うとともに、鳥取しゅんしゅん祭への誘客を行う。
手段 (どうするのか)	姫路お城まつりで行われるパレードにしゅんしゅん傘踊りの参加連を派遣し、本市のPRを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 しゅんしゅん傘踊りの参加連派遣	平成24年度 しゅんしゅん傘踊りの参加連派遣	平成25年度 しゅんしゅん傘踊りの参加連派遣	平成26年度 しゅんしゅん傘踊りの参加連派遣	平成27年度 しゅんしゅん傘踊りの参加連派遣	
	年度別実績	しゅんしゅん傘踊り(鳥取市観光協会連)派遣	しゅんしゅん傘踊り(鳥取市観光協会連、鈴の音大使)参加連派遣	しゅんしゅん傘踊り(鳥取市観光協会連、鈴の音大使)参加連派遣			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	939	924	737	0	210	
	直接経費 A	189	181	8	0	210	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	189	181	8	0	210	
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		姫路お城まつり見物客数	千人	目標	134	134	134	134	134
	(指標の説明) 姫路お城まつり見物客数	実績	212	193	205	0	0		
2		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		
3		目標	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0		

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239 (経065)</p> <p>【事業の概要】 本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝および姉妹都市姫路市との交流を深める。</p> <p>【事業の成果】 姫路お城まつりにしゃんしゃん鈴の音大使、傘踊り連を派遣し、イベントステージ及びパレード傘踊りを披露し、第49回鳥取しゃんしゃん祭りのPRを行うとともに、砂の美術館第6期展示や第30回全国都市緑化とっとりフェアのPRを合わせて行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 姉妹都市である姫路市との間のイベント交流を実施し、都市間の結びつきを強めることで経済活性化や観光客誘致に繋げたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	姫路お城まつり見物客数	158%	144%	153%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	姉妹都市である姫路市に開幕直前のしゃんしゃん祭をPRする事業であり、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	姉妹都市である姫路市に開幕直前のしゃんしゃん祭をPRする事業であり有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	市直営で経費を圧縮しており、効率性は高いと言える。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	姫路市最大の夏祭りでしゃんしゃん傘踊りをPRでき、対象も適切で公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	姫路お城祭りへの鈴の音大使、踊り子連の派遣は、開催前のしゃんしゃん祭りのPRに一定の効果はあるものの、地域間交流の意味合いが強く、多くの誘客に結び付いていない。 今後は、知名度アップ事業との統合も視野に入れて事業を検討していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	002339	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	因幡・但馬広域観光キャンペーン事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	因幡・但馬広域観光キャンペーン実行委員会負担金		予算事業コード	01-06-01-03-06-10	
ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人			

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	因幡・但馬・丹後観光協議会
意図 (どのような状態にするために)	因幡・但馬・丹後エリアマップの改訂・発行や、エリア内外に向けて因幡・但馬の魅力情報を情報発信し、エリア内外への誘客を図る。
手段 (どうするのか)	因幡・但馬・丹後観光協議会へ負担金を拠出するとともに、会員として事業に参画していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外に向けた因幡・但馬の魅力PR	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外に向けた因幡・但馬の魅力PR	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外に向けた因幡・但馬の魅力PR	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外に向けた因幡・但馬の魅力PR	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外に向けた因幡・但馬の魅力PR	
	年度別実績	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外イベントでのブース出展 ・ジオサイト周遊促進事業	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外イベントでのブース出展 ・ジオサイト周遊促進事業	・因幡・但馬エリアマップの改訂・発行 ・エリア内外イベントでのブース出展 ・ジオサイト周遊促進事業			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	950	943	729	0	200	
	直接経費 A	200	200	0	0	200	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	200	200	0	0	200
人件費 B	750	743	729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	鳥取・いなば温泉郷観光入込客数	千人	目標	2800	3100	3200	3200	3200
		実績		2677	3173	3000	0	0	
	(指標の説明) 観光地における入込客								
2	エリアマップ発行部数	千部	目標	0	0	50	50	50	
			実績	0	0	50	0	0	
	(指標の説明) エリアマップ発行部数								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 鳥取県東部地域と兵庫県北部地域の行政及び民間が協力し、広域的な観光キャンペーン事業を実施することで、同地域の観光交流及び地域の経済活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 ①実施事業 ・広域観光マップ「因幡・但馬・丹後マップ」作成配布 ・イベントにおける観光連携PR ・山陰ジオパーク推進協議会との連携事業 ②決算額 平成25年度 200千円 ※平成25年度より各種団体負担金に含まれているため、コストが0となっているもの。</p> <p>【今後の課題・方向性】 「山陰海岸ジオパーク推進協議会」と連携してガイド交流会を開催し、会員及びガイドのジオパークやエリア内の観光地に対する知識と理解を深め、情報共有を図ることで観光客のエリア周遊を促している。 エリア内での具体的な周遊パターンは把握できてないが、現段階では個々のエリアの魅力を高めていくことで、周遊の輪を広げていく努力が必要と考えている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取・いなば温泉郷観光入込客数	96%	102%	94%		
	2	エリアマップ発行部数			100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	山陰海岸ジオパークエリアでもある因幡・但馬・丹後エリアの広域観光への取り組みは、市にとっても重要であり事業として妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	ジオエリアを含む広域観光マップの作成など、他にない取り組みを行っており、事業としての有効性は高いと考える。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	広域的な取り組みにより、エリア内に相互利益が生まれ効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	会員である県、市町及び観光協会などの負担金により協議会事業を行っており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 「山陰海岸ジオパーク」を核とした広域的な観光キャンペーン事業を実施することで、同地域の観光交流及び地域の経済活性化を図っていくことは重要であり、継続実施していく必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	002322	重点事業区分	リープロ5	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	国際観光推進事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットとつとりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	国際観光推進事業			予算事業コード	01-06-01-03-02-20

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に訪れる外国人観光客
意図 (どのような状態にするために)	東アジア市場をはじめとする環日本海諸国における本市の知名度をアップさせ、外国人観光客の受入体制整備、効果的な誘客宣伝・広報活動を行うことにより、本市の国際観光を推進し、地域経済の活性化を図る。
手段 (どうするのか)	外国人観光客誘致のための誘客宣伝活動や国際観光博覧会への出展、外国人観光客おもてなし研修会等を実施し、様々な国際観光施策の展開により、本市の観光産業を下支えする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミツアーの実施 ・国際観光博覧会出展 ・おもてなし研修会 ・国際チャーター便の就航(ウラジオストク市) ・国際観光客サポートセンターの運営 ・観光サインの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光博覧会出展 ・おもてなし研修会 ・国際チャーター便の就航(清州市) ・ファミツアー ・国際観光客サポートセンターの運営 ・観光サインの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光博覧会出展 ・おもてなし研修会 ・ファミツアー ・国際観光客サポートセンターの運営 ・観光サインの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光博覧会出展 ・おもてなし研修会 ・ファミツアー ・国際観光客サポートセンターの運営 ・観光サインの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光博覧会出展 ・おもてなし研修会 ・ファミツアー ・国際観光客サポートセンターの運営 ・観光サインの整備 	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	31,037	43,429	43,891	0	34,963	
	直接経費 A	23,540	36,003	36,606	0	34,963	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,726	1,899	3,603	0	2,676
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	33,463	5,590	0	0
一般財源	20,814	641	27,413	0	32,287		
人件費 B	7,497	7,426	7,285	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市外国人述べ宿泊者数	人	目標	4940	6000	7060	8012	8100
			実績	4940	3302	7607	0	0	
			(指標の説明) 鳥取市に入ってくる外国人の述べ宿泊者数						
	2	外国人タクシー利用者数	人	目標	0	0	900	900	900
				実績	0	0	2266	0	0
		(指標の説明) 外国人タクシー利用者数							
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239(経066)、12補正・P61(009)</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国際観光を推進する体制の整備 ② 諸外国での鳥取市観光情報発信 ③ インバウンド対策 ④ 海外プロモーションの展開 ⑤ 国際チャーター便誘致事業 ⑥ 二次交通支援事業 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外国人観光客周遊1,000円タクシー 3時間の貸切りタクシーを外国人観光客だけ1台1,000円で利用でき、交通の利便性を飛躍的に高めるシステムとして970件の利用があった。(平成24年度500件、平成23年度435件) ② FAMツアー(韓国メディア3社、旅行社7社) 5月、6月にFAMツアーを催行し、体験型施設を中心に本市の紹介を行った結果、メディア3社が記事化、旅行社6社がツアー造成を行った。 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>東京オリンピックや、アジア諸国の高い経済成長により、外国人観光客が増加することが予想される。今後、旅行者のニーズをとらえてさまざまな取り組みを進めていくとともに、鳥取の良さをアピールし、大都市圏内にとどまる傾向がみられる外国人観光客の次の選択肢として鳥取を選んでいただけるよう魅力を高める必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市外国人述べ宿泊者数	100%	55%	108%		
	2	外国人タクシー利用者数			252%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	飽和状態にある日本人観光客に比べ、日本全体として確実に増加傾向にある外国人観光客を鳥取市に誘客することは今後の観光行政の向上に確実に必要。積極的な関与が大切。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	個人旅行者(FIT)の多い鳥取市としてはタクシー等の二次交通を整備することは大切。また、国際空港としての機能を有する鳥取空港を国際線をチャーターして利用することは大事。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取市の知名度が次第に上昇している為、順調に来客数は上昇している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	全てのお客様に隔たりが無いように対応できる準備をしている。しかし、国によって千差万別であり対応が難しい事もある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	外国人旅行者のニーズをとらえるとともに、鳥取独自の良さをアピールしていくため、どのようなルートを使って鳥取市に入っているかのデータを独自に調査・管理し、それぞれの国の観光客に対してきめ細やかな対応をしていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	002368	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	観光サイン設置事業		所属名	経済観光部 観光コンベンション推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり		事業期間	全期
	政策	02	魅力、感動、癒しの空間でもてなす		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	5201	ビジットととりの展開				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	観光入込客数		267万人	340万人	運営方法	直営
	コンベンション誘致数		75件	120件	会計区分	一般会計
	ボランティア除草参加人数		5,893人	5,000人		
予算	予算事業名	観光サイン設置事業費			予算事業コード	01-06-01-03-07-14

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市への観光客
意図 (どのような状態にするために)	本市に入ってくる観光客に対し、観光施設や観光地の情報を素早く、的確に提供するため、観光サイン（案内看板等）の整備を進め、観光客の利便性を高める。
手段 (どうするのか)	観光サイン（案内看板等）の整備を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・観光サイン(案内看板等)の整備	平成24年度 ・観光サイン(案内看板等)の整備	平成25年度 ・観光サイン(案内看板等)の整備	平成26年度 ・観光サイン(案内看板等)の整備	平成27年度 ・観光サイン(案内看板等)の整備	
	年度別実績	・観光サイン(案内看板等)の修繕・整備	・観光サイン(案内看板等)の整備	・観光サイン(案内看板等)の整備			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,887	6,023	4,722	0	2,000	
	直接経費 A	2,888	3,053	1,808	0	2,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,210	597	418	0	310
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	350	0	0	0
		一般財源	1,678	2,106	1,390	0	1,690
人件費 B	2,999	2,970	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	千人	目標	2800	3100	3200	3200	3200	
			実績	2677	3173	3000	0	0		
	(指標の説明) 観光地における入込客									
	2	指標名	単位	目標	0	0	129	129	129	
		観光看板の整備数	件	実績	0	0	131	0	0	
(指標の説明) 観光看板の整備数										
3	目標	0	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】 5201</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P239 (経077)</p> <p>【事業の概要】 市内全域の観光案内看板及び誘導看板等の整備を行い、観光情報発信及びスムーズな観光客の誘導を行うことを目的とする。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白兔の丘PR看板設置 ・鳥取西IC観光看板設置 ・鳥取駅北口看板張替 等 <p>【今後の課題・方向性】 効果的かつ効率的な観光案内を行うため、新規設置や既存看板の更新・補修などを継続して実施する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺観光入込客数	96%	102%	94%		
	2	観光看板の整備数			102%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	観光情報を発信するとともに、観光客をスムーズに観光地へ誘導するものであり妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	分かりやすい看板を整備することによりおもてなしの向上が図られる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	看板の新設を行うとともに既存看板の更新や補修を行い、効果的かつ効率的な観光案内を行う。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	日本語表記のみでなく、外国語に対応した案内看板の整備を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	観光客をスムーズに誘導するとともに、観光施設や観光地の情報を素早かつ確に提供するため、新規整備や既存看板の維持管理を継続して実施する。	